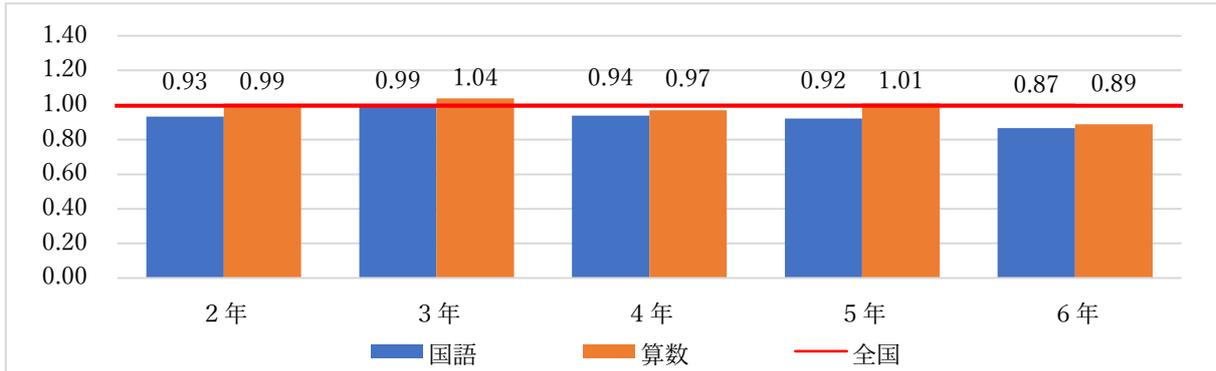


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第五中学校区 和光小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」領域については、概ね全国平均と同等の結果であった。引き続き、日々の授業と家庭学習を通じた漢字や言葉の学習とともに、新出漢字の確実な定着、語彙力の習得に向けた取組を継続していく。
	算数	「数と計算」「データの活用」領域については、概ね全国平均と同等、または上回る結果であり、良好な結果であった。引き続き、基礎・基本の確実な定着に向けた取組と、毎日の家庭学習と連動させた指導を充実させていく。
全国学力・学習状況調査	国語	漢字を文の中で正しく使うことができるかを問う設問が、全国平均を上回る結果であった。また、全体の無解答率が全国平均より低く、良好な状況であった。引き続き、漢字の確実な定着と、最後まで諦めずに取組む指導を継続していく。
	算数	伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取る設問や乗法計算の設問、図形の名前を問う設問が、全国平均と同等、または上回る結果であった。引き続き、基礎・基本の定着に向けた指導を充実させていく。
	質問紙	「先生は分かるまで教えてくれている」の設問に肯定的な回答を、また「授業でICT機器をどの程度使用しましたか」の設問に「毎日」と回答した児童の割合が、全国平均を上回っていることから、学力向上に向けた効果的な取組やICT機器の活用方法をさらに検討していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

中学校区3校教職員で構成する小中一貫推進部会・8部会を定期的に開催し、各校の取組や進捗状況、学力調査の結果分析や課題の共有等を行っている。さらに、ディベート教育や「考える力」育成に向けた合同研修会、授業公開を開催し、同じ方向性のもと、取組を推進している。

【 学校 】

各学期末の「学期末テスト(躰・躰)」の実施、「チャレンジノート」による家庭学習推進、「自分の思いや考えを、言葉で表現できる子どもの育成」に向けた授業研究、「ねやがわスタンダード」に基づいた全教員相互授業参観により、「考える力」育成・基礎学力定着・授業力向上に向けた取組を推進している。さらに「ホームワークガイド」や「ゲーム・スマホ・テレビについて考える Day」を通じた保護者への啓発も合わせて行い、主体的に学ぶ姿勢を育てている。